

<p>議会</p> <p>市連</p> <p>市連</p>	<p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市議会としては開かれた議会わかりやすい議会を目指し、システムの導入、大学との連携で議会BCP等々の策定に取り組んできた。(議会BCP＝議会業務継続計画)</li> <li>・本年度は、より活動の衆知と、多数の意見を聞く場として各団体との意見交換会を提案している。</li> <li>・大津市自治連合会が一番市民の声を理解し実現に努力されている団体として高く評価をしている。</li> <li>・本日は市民の声をお聞きしたい議会と、一番そのことに精通されている自治連合会との意見交換会であり、この場を通じて今後の議会活動、市政発展に生かしていきたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全・安心、明るい、住みよいまちづくり」のため大津市自治連合会と大津市市議会がどのようにコラボレーションしていくかは大切なことである。</li> <li>・そのためには自治連合会と議会が懇談する場をこれからも持っていきたい。</li> <li>・今後も日常ボランティア活動として学区自治連合会が頑張っている声を伝えていきたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市自治連合会平成26年重点計画について説明。</li> </ul>
<p>市連</p> <p>議員</p>	<p>1.自治会活動促進と自治振興に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いま、議会においては「議会基本条例」の考え方表明され、その中において住民自治実現のため議会としての役割を検討されているがその内容について伺いたい。</li> <li>・議会基本条例については5月から4回の政策検討会議を開催し会派意見を聞いている段階でありまだ決定には至っていない。</li> <li>・ただ、それぞれの会派が市民自治、住民自治を考え、市民の意見を議会としてしっかり把握して議会、行政に生かす努力をするというのは共通の認識である。</li> <li>・成文としてはそうした論議をされた中で基本条例にうたい込まれるものと考えている。</li> </ul>
<p>市連</p> <p>議員</p>	<p>2.防火、防犯、防災活動に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学区においては、防火、防犯、防災活動については色々な活動を展開しているところである。特に防災では、一昨年、昨年と大雨や台風による被害が多く発生し様々な対応をした。今後、防災対策体制の充実を図るには議会や行政との協力体制が重要である。議会としての役割や地域自治連合会との提携について伺いたい。</li> <li>・現在の防災推進条例には議会の役割が入っていない。これを発災時すぐに動くことができる新しい防災基本条例作成のため作業中である。</li> <li>・議会としては災害時に議会としてどのような対応ができるかをBCPでとりあげている。</li> <li>・災害発生時に議会が機能しないということは議会不信感につながってくる。したがってそれらに対応できる議会業務計画(BCP)をつくっていかねばならない。</li> <li>・今後の防災基本条例は行政・自治連合会・議会の三者の関わりを基本的に考えている。</li> <li>・発災時には地元議員と、連合会長に接点がないと動かない。情報交換を密にしていきたい。</li> <li>・議員として防災は最優先の課題である、防災訓練も一番危険な地域で臨場感をもって訓練したい。</li> <li>・通年市議会の採用は大規模災害時に即、議会を開催し意向が反映できる効果があると考えます。</li> </ul>
<p>市連</p> <p>議員</p> <p>市連</p> <p>議員</p>	<p>3.いじめ問題に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策について条例化されたが、その後の取組み状況と効果、予算等について伺いたい。</li> <li>・体制面では学校安全推進室と、いじめ対策推進室の二本立ての組織機構改革をした。</li> <li>・小中学校には、いじめ対策担当教諭(いじめ相談の先生)の配置をした。</li> <li>・効果面では教育委員会報告によると、H25年相談件数381件、解決率98.7%である。</li> <li>・市民部のいじめ対策推進室への相談件数は、延べ件数で650件あった。</li> <li>・いじめ対策担当教諭の配置により、相談しやすい体制が整ったとの喜びの声がある。</li> <li>・条例については来年4月までに見直しをして子どもの育ちに関する部分を加えたい。</li> <li>・条例による効果を期待すると同時に、物事の善悪を教えることが大切であと考える。</li> <li>・予算については、持続すべきと、見直すべき、との各論あり。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的には先生が疲弊していると聞く、元気な先生をつくるため先生擁護の政策を大津から発信を。</li> <li>・先生の疲弊の面では、最近LINE使用等いじめの質が変わってきていて、親や学校からも見えにくくなっていると聞く。今後の対策では先生や学校だけに頼るのでは不十分と考える。</li> <li>・地域と一体となった見守り活動推進のため自治連合会はじめ各団体と学校や議員との連携が必要。</li> <li>・H28年から学校教育者会議制度がはじまるが、地域と学校の連携について提案提言をしていきたい。</li> </ul>

市連 議員	<p>4.補助金適正化に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、補助金適正化による縮小、廃止が進められているが市議会としての考えを伺いたい。</li> <li>・一議員としては何をもちて適正というのかを考える。多くの意見を聞くが三者協働の根幹と考える。</li> <li>・行政改革は大事であるが一律50%ルールは今後課題になろうと考える。</li> <li>・大津市の本意をしっかりと伝えずして、まちづくりを進めざるを得ないところに課題があると考える。</li> <li>・大津市の経常収支比率は90%を超えており基本的な支出だけで90%を超える予算となっている。</li> <li>・自治連合会はこれからの行政の根幹を担っている。財政についても議論をしながら運営していきたい。</li> <li>・補助金に関してはH22年に包括外部監査にて補助金の交付を明確にしていけないとの指摘があり、H24年に補助金適正化基本指針ができた。</li> <li>・H26年は55億円の補助金の中で大体4,200万円の減。22の補助金団体を2分の1カットした。</li> <li>・執行には公平性や透明性の中で市民に説明責任が果たせる補助金の出し方をしていかなければと思う。</li> <li>・これからも補助金の必要などにはできるだけ皆様の意見を聞きながら補助金の確保に努めたい。</li> <li>・最初の平成26年度重点計画説明の中で連合会と大津市行政はまさに車の両輪でなければなりません。特に大津市二役並びに市民部との方向に違いがあってははいけません。との運動方針を立てているが二役並びに市民部は連合会と反対を向いているのか。いまの予算の話、補助金の話について、連合会は二役と市民部に大きな声はださないのか。</li> </ul> <p>市連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ二役との話し合いは出来ていない。議会が終われば二役との会談の場、懇談の場を設け、その中で、先程言ったことを含めてしっかり申し述べていきたい。</li> </ul>
市連 議会	<p>5.議会改革と大学連携に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会改革の活動と大津市政の整合性についてと、市議会と大学連携について今後の展開と効果について伺いたい。</li> <li>・議会改革については現在、膨大な改革をしている。150インチスクリーン、電子採決の導入、個別賛否表示システム等々に取り組んでいる。</li> <li>・市行政とは対等な立場で議論を重ねるとともに市民福祉の向上に努めていく。</li> <li>・議会改革並びに大学連携は市民生活、住民福祉の向上につながると考えている。</li> <li>・議会としての権能が生かし切れていない力を十分使うようにするのが議会改革である。</li> <li>・今年度は政策検討会議を設置して防災と議会基本条例の議論を進め住民福祉向上になげたい。</li> <li>・現在まで3大学とパートナーシップ協定を結び議員倫理、議会活性化、について講演を受けた。</li> <li>・いじめ防止条例、BCPに関してのアドバイスを受け議員条例を定めた。今後も協定を生かしていく。</li> </ul>
市連 議員	<p>6.その他に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年議会開催で意見反映の場増大と期待するが、現実にはまだ意見交換が少ないとの意見がある。</li> <li>・議会と学区自治連合会の情報のキャッチボールができるよう強く願う。</li> <li>・卑近な例として敬老祝い金が祝い品になったとの条例報告があり市連定例会で多くの意見が出た。</li> <li>・敬老祝い品の件は老人クラブ連合会と話をし、財政面から渋々納得頂いたと聞いている。</li> <li>・高齢者を大切にす観点からいかがかかなとも思い確認したが同様であり予先がにぶった。</li> <li>・もう少し、連合会と議員が連携プレーをする必要はあるかなと思う。しかし経過は前述の通りである。</li> <li>・今回は行政から出てきた条例案であったが、これらの裏取りをして判断するのが議員の役目と考える。</li> <li>・これからも自治連合会、自治会と一緒に協力して情報交換・情報発信をしていきたい。</li> </ul> <p>市連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大津市自治連合会としてはあらゆる面で信頼を得られる活動をしたいと考えている。</li> <li>・コンプライアンスの問題も避けることなく、事務局体制の強化を図っていきたい。</li> <li>・3年前議会は議員定数削減に取り組まれたが、今後も忸怩たるものがあれば新たな判断を願いたい。</li> </ul> <p>議員 市連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治連合会はわがまちづくりの活動に尽力頂いているが、今後どのようなブロック制を考えているか。</li> <li>・今迄のそれぞれ学区の誕生した生い立ち、歴史、地理的安定、といった面からして現在の7ブロック制を踏襲する。市社会福祉協議会からも市自治連のブロックに合わせるというバックアップを頂いた。</li> <li>・わがまちづくり市民運動は、自治連がイニシアチブをとるが参加団体とのコラボレートを大切にする。</li> </ul>
市連	<p>7.総括</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.今回の意見交換会は、議会側から広く意見を聞きたいとの申し入れに対し自治連合会が真摯に応えたものである。議会からは7割を超える議員が参加をするという熱のこもった意見交換会となった。</li> <li>2.個々の意見交換内容は、本、要約ダイジェスト版と先の報告書で詳細に示しているが、議会としても質問事項の取組み中心メンバーが説明にあたるなどその対応に丁寧なものがあつた。</li> <li>3.特に自連合会が地域の中心であるとの評価と、今後の連携が重要との認識は多くの議員共通であつた。</li> <li>4.いうまでもなく今回の意見交換会はスタートと考え、今後も「おごらず」「へつらわず」自然体で臨みあう正面から堂々の対話が必要である。多くの団体との意見交換で、まさに強い自治連合会を目指したい。</li> </ol>